

2025 年 7 月

- 7 月 15 日（火）、第 4 回目の総合講座が開催され、武田医療安全管理者による「医療安全 ～研修医にお願いしたいこと～」と題した講義が行われました。講義では、「なぜ医療安全が必要なのか」、「なぜ医療事故が起こるのか」といったテーマについて、スライドを用いてわかりやすく講演していただきました。

特に印象的だったのは、医師によるインシデント報告が少なく、臨床研修医に至っては一人あたり年間 1 件にも満たないという現状です。報告に対する抵抗感や、報告に時間がかかることがその要因として挙げられました。しかし、報告の目的は「責任追及」ではなく「次に繋げる学習と改善」であることが協調され、報告文化を根付かせることで、職員全体の安全意識の向上が期待されます。講義の最後には、「インシデントレポートは宝の山である」との言葉で締めくくられ、報告の意義を実感できるような取り組みの重要性が語られました。

7 月 27 日（日）、高校生を対象とした医療体験セミナーを開催しました。釧路の猛暑？の中にもかかわらず、28 名の高校生が参加してくれました。医療の現場に興味を持つ若者たちの真剣な眼差しに、当院スタッフも自然と背筋が伸びる思いでした。

今回のセミナーでは、1 年次研修医 2 名が所用のため、2 年次の谷口研修医が超音波エコーのデモンストレーションを行いました。専門的な内容にもかかわらず、身振り手振りを交えながら、わかりやすく丁寧に説明してくれました。高校生たちも興味津々で耳を傾け、実際に機器に触れる体験を通して、医療の奥深さを感じていたようです。

当院のスタッフ、谷口研修医、本当にお疲れ様でした。そして、参加してくれた高校生の皆さん、ありがとうございました。今回の体験が、皆さんの将来の選択に少しでも役立つことを願っています。

総合講座



高校生医療体験セミナー



谷口研修医

